



防災21

助け合いが命を救う

「共助」の力で

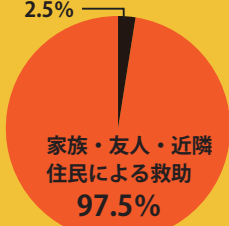
地域防災力を高めよう

約8割が自助・共助で救出

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、倒壊した建物や家具の下敷きになった人のうち、97.5%が自力や家族、近隣住民によって救出されました。大規模災害時には、公的機関の支援がすぐに行き届かない場合もあり、「共助」が命を守る鍵となります。

阪神・淡路大震災
救助活動の状況

消防・自衛隊など
公的機関による救助
2.5%



出典 東京消防庁

迫る南海トラフ巨大地震

今後30年以内に80%の確率で発生するとされる南海トラフ巨大地震でも、同様の状況が想定されています。だからこそ「自分たちの命は自分たちで守る」意識と、地域で助け合う力を高めることが大切です。自分や大切な人を守る行動を、今この時から始めてみませんか。



防災士ネットワークの支援

防災に関する知識や技能を持つ「防災士」が情報交換やスキルアップを図るネットワークを設立。地域の防災リーダーとして活躍できるよう学び合い、力を高めています。



詳しくは
こちら▼



自主防災組織結成などの支援

自治会などを母体とした自主防災組織の結成や活動を支援。避難訓練や防災マニュアルの作成など、地域に合った助け合える体制づくりを進めています。



詳しくは
こちら▼



本市では、誰もが日頃から防災に対する関心を高め、行動につなげられる環境づくりを進めています。また、地域での備えや活動が円滑に行えるよう、必要な支援やサポート体制も整えています。「地域で防災に取り組みたい」「自主防災組織を立ち上げたい」と感じたら、お気軽にお問い合わせください。



日本一の紙のまちは
ペット用品もたくさん

THE BEST PET CITY



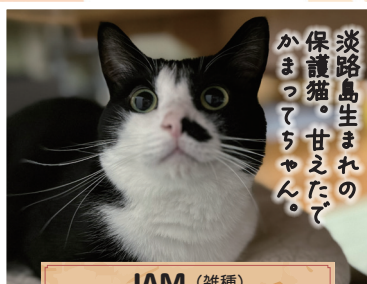
エース (ポメ柴)
土居町小林



大豆 (豆柴)
金生町山田井



ちび (三毛猫)
三島中央



JAM (雑種)
中曽根町



ココ (パピヨン)
金生町下分



ブク (柴犬)
村松町